

2 胃癌術後抗癌剤と Mesima® 併用投与による臨床的観察

○鄭賢溶, 盧承武 (忠南大学校 一般外科学教室)
宋奎祥 (忠南大学校 解剖病理学教室)
愼京淑, 趙俊植 (忠南大学校 診断放射線学教室)

【目的】最近、癌の早期発見、手術、放射線療法
の向上とともに多くの化学療剤の開発で癌治療は効
果を上げつつあるが、いまだ放射線照射、或いは抗
癌剤による細胞毒と免疫系の損傷等の問題を補完す
るため、免疫増強剤の併用投与が必要である。演者
らは、胃癌患者に術後抗癌剤と免疫増強剤である
Mesima®を併用投与した時の再発、転移副作用等を
観察した結果を報告する。

【方法】胃癌 (2期～末期) 患者に対して術後転移
の疑いがある患者を選定し抗癌剤である 5-FU と免
疫増強剤である Mesima®を併用投与し一定期間、内
視鏡、超音波、臨床的検査等を通じて、再発、転移、
副作用等を観察した。

【結果】 観察期間：術後 6ヶ月～2年
患者年齢：30代 (2名)、40代 (1名)
50代 (4名)、60代 (5名)
70代 (2名) 計 14名

術前進行度：2期 (6名)、3期 (5名)
末期 (1名)、その他 (2名)

患者 14名中 再発、転移、副作用なく良好な患者
は 13名 (92.86%) であった。

70歳で3期の患者1名は、Lt. SCLN のリンパ節
転移が確認され再び化学療法と併用投与治療中であ
る。

【結論】胃癌術後患者に他の抗癌剤と Mesima®併用
投与した場合もよく似た結果が見られるが、本研究
においては、転移可能の高い患者を選び抗癌剤 5-FU
と Mesima®を併用経口投与し、一定期間後各種の臨
床的検査を行い観察した結果は良好であり、今後癌
進行抑制、転移抑制効果に対し引き続き臨床研究を
行っていきたい。